

第2章

一・二・三・四類感染症及び全数把握対象の五類感染症報告状況

1. 一類感染症

一類感染症の報告はありませんでした。

2. 二類感染症

重症急性呼吸器症候群、急性灰白髄炎、ジフテリア、鳥インフルエンザ(H5N1)

報告はありませんでした。

結核 (Tuberculosis)

結核は、2007年4月1日から感染症法の二類対象疾患となり、ここでのデータは、横浜市健康福祉局健康安全課で作成した平成24(2012)年結核発生動向調査年報から引用しています。

年間患者報告数は611人、罹患率*は16.5で、昨年より減少しました(対前年比1.5減)。全国の罹患率*は16.7(対前年比1.0減)でしたので、3年ぶりに全国を下回っています。

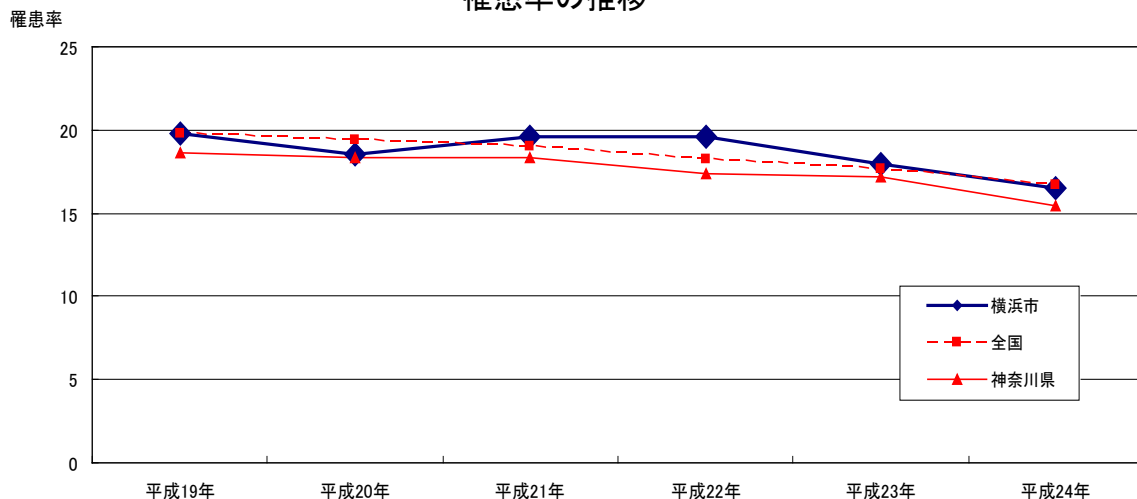
男女別では、男性が388人(63.5%)、女性が223人(36.5%)で、男性の報告が多くみられました。

また、年齢層別では男女とも高齢者の報告が多く、男性では70歳以上が172人(28.2%)、女性では112人(18.3%)で合わせて284人(46.5%)となり、2011年と比べ増加傾向にあります。

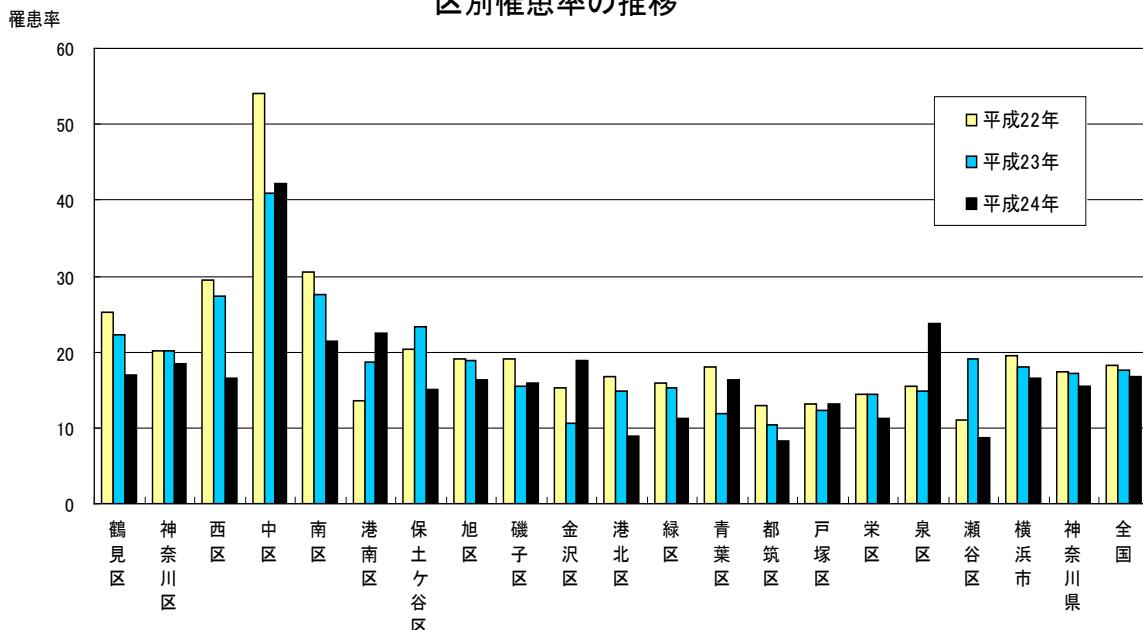
行政区別の罹患率*をみると、中区が42.1と最も多く、次いで泉区が23.8、港南区が22.4、南区が21.5の順でした。

※人口10万対

罹患率の推移



区別罹患率の推移



3. 三類感染症

コレラ (Cholera)

2例の報告がありました。

診断日	性別	年齢	菌型	感染地域
1/11	男	40歳代	O1エルトル小川型	フィリピン(推定)
5/2	女	40歳代	O1エルトル小川型	マレーシア(推定)

細菌性赤痢 (Shigellosis)

6例の報告がありました。

診断日	性別	年齢	菌型	感染地域
1/20	男	40歳代	<i>Shigella sonnei</i>	(感染地域不明)
8/30	男	70歳代	<i>Shigella flexneri</i>	北朝鮮
8/30	男	20歳代	<i>Shigella sonnei</i>	ミャンマー
10/15	女	20歳代	<i>Shigella sonnei</i>	インド
11/6	男	30歳代	<i>Shigella sonnei</i>	日本(推定)
12/3	女	60歳代	<i>Shigella sonnei</i>	エジプト

腸チフス (Typhoid fever)

3例の報告がありました。

診断日	性別	年齢	感染地域
2/20	男	20歳代	インドネシア(推定)
4/5	男	30歳代	インド(推定)
9/7	女	10歳代	インドネシア

パラチフス (Paratyphoid fever)

1例の報告がありました。

診断日	性別	年齢	感染地域
1/3	女	40歳代	パキスタン(推定)

腸管出血性大腸菌感染症 (Enterohemorrhagic Esherichia coli infection)

87例の報告があり、うち、患者(症状あり)が66例(75.9%)、無症状病原体保有者が21例(24.1%)でした。

菌型はO157が69例と全体の79.3%を占め、次いでO26が9例(10.3%)と多く、続いてO111が3例(3.4%)、O103とO145が各2例(2.3%)、O121とO165が各1例(1.1%)でした。

月別では、6月が27例(31.0%)、9月が15例(17.2%)、10月が13例(14.9%)、8月が10例(11.5%)、7月が9例(10.3%)で、この5か月間で全体の85.1%の報告です。

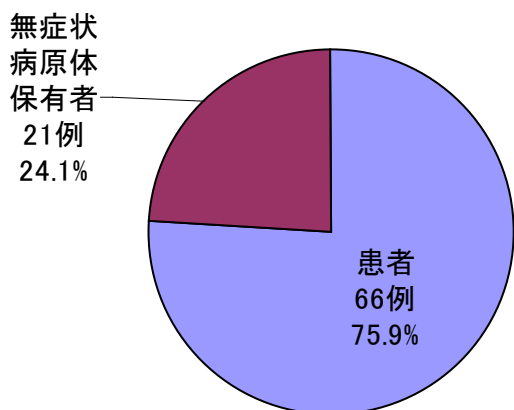
男女別では、男性が38例(43.7%)、女性が49例(56.3%)でした。

年齢層別では、10歳代が28例(32.2%)と最も多く、次いで10歳未満が18例(20.7%)、20歳代が14例(16.1%)の報告数で、合わせると全体の69.0%を占めています。

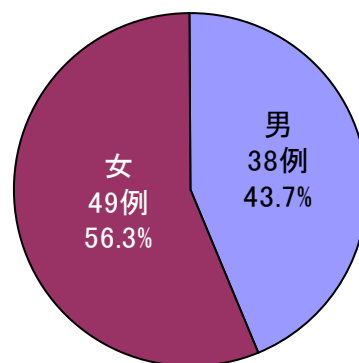
推定感染地域は、日本国内が75例(86.2%)、トルコが2例(2.3%)、韓国が1例(1.1%)、日本国内またはイタリアが1例(1.1%)、不明が8例(9.2%)でした。

また、国内発生75例のうち、神奈川県内は43例(49.4%)でした。

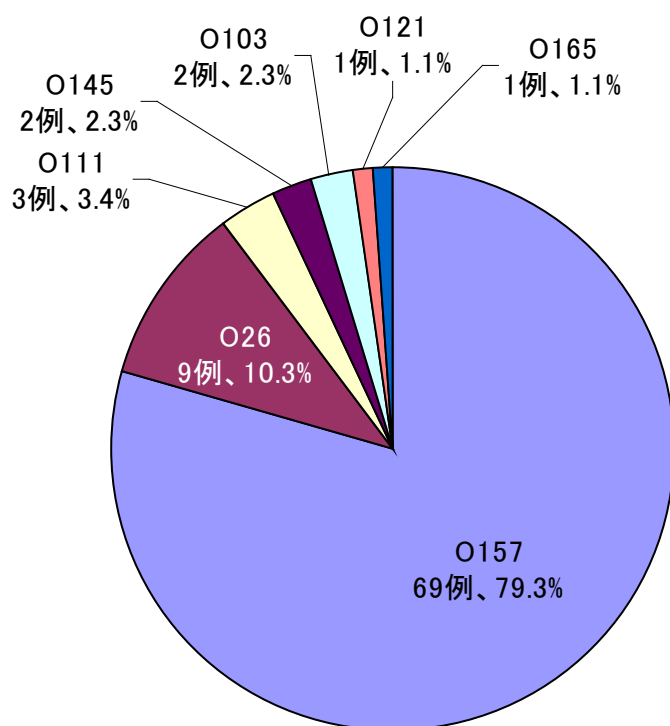
症状別報告割合(2012年)



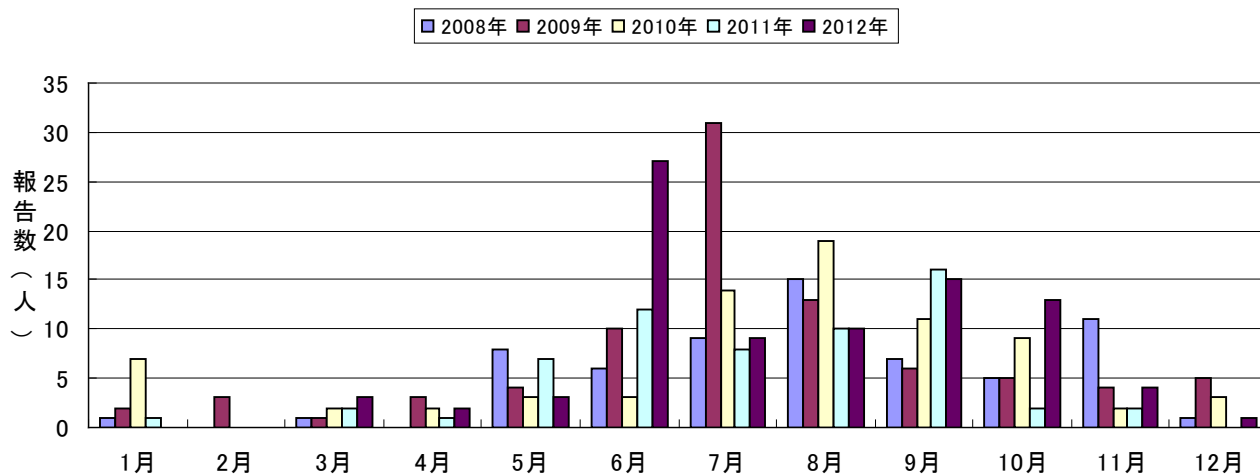
男女別報告割合(2012年)



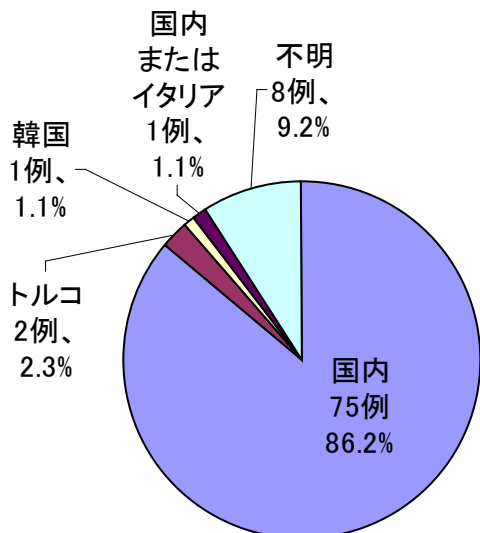
菌型別報告割合(2012年)



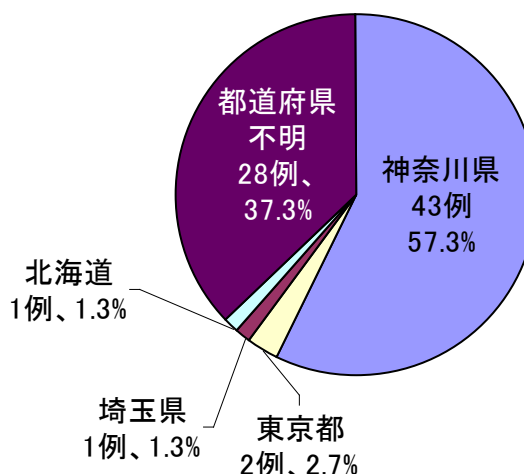
過去5年間の腸管出血性大腸菌感染症月別報告数



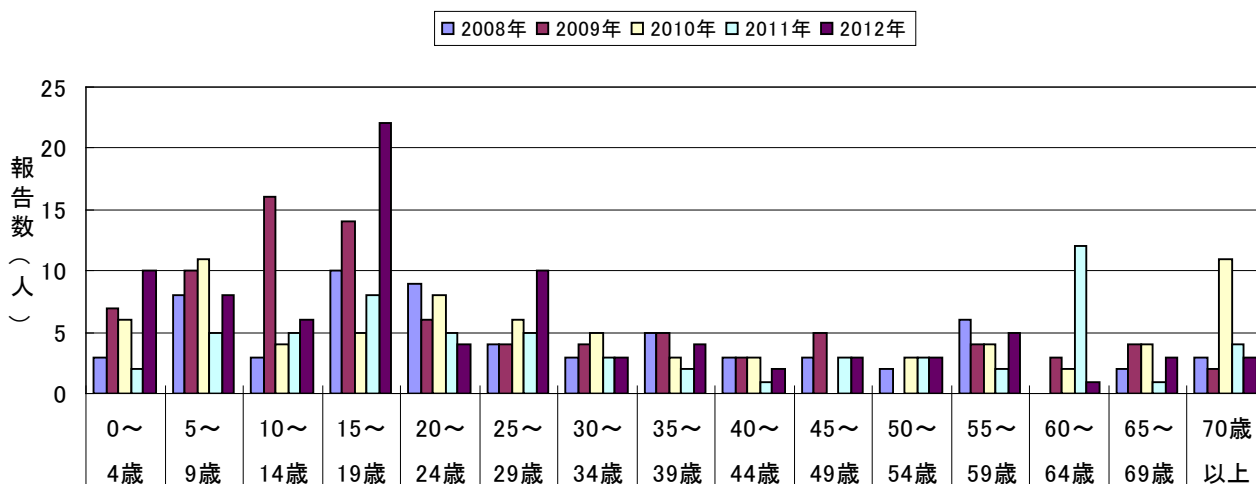
感染地域別報告割合（2012年）



感染地域別報告割合・国内（2012年）



過去5年間の腸管出血性大腸菌感染症年齢層別報告数



4. 四類感染症

E型肝炎（Hepatitis E）

50歳代男性の報告が1例ありました。推定感染地域は中国でした。

A型肝炎（Hepatitis A）

8例の報告がありました。男女別では男性が4例、女性が4例で、年齢層別では10歳代・20歳代・30歳代が各2例、40歳代と70歳代が各1例でした。推定感染地域は、日本国内が6例、ウズベキスタンとエジプトが各1例でした。

チクングニア熱（Chikungunya fever）

40歳代男性の報告が1例ありました。推定感染地域はパプアニューギニアでした。

デング熱（Dengue fever）

11例の報告がありました。男女別では男性が5例、女性が6例で、年齢層別では50歳代と60歳代が各3例、

20歳代と40歳代が各2例、30歳代が1例でした。推定感染地域はインドが3例、タイとフィリピンが各2例、インドネシア、グアム、スリランカ、バングラデシュが各1例でした。

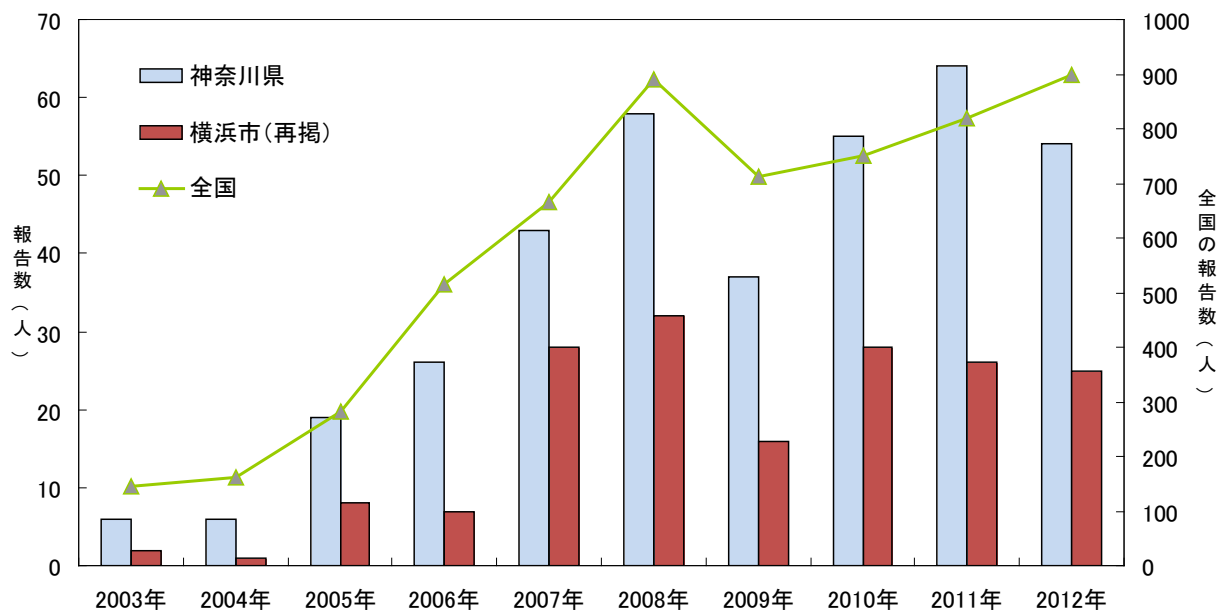
マラリア (Malaria)

7例の報告がありました。男女別では男性が6例、女性が1例で、年齢層別では30歳代が3例、20歳代が2例、40歳代と60歳代が各1例でした。推定感染地域は、ウガンダが2例、インド、ガーナ、ナイジェリア、南米諸国(詳細不明)、アフリカ(詳細不明)が各1例でした。

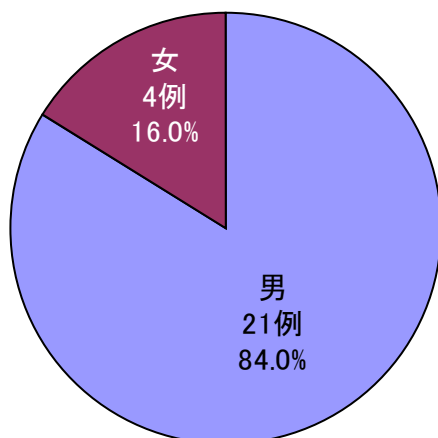
レジオネラ症 (Legionellosis)

25例の報告があり、病型は23例が肺炎型、2例がポンティアック型でした。男女別では、男性が21例(84.0%)、女性が4例(16.0%)でした。年齢層別では、60歳代が10例(40.0%)、70歳代と80歳以上が各5例(20.0%)、40歳代と50歳代が各2例(8.0%)、30歳代が1例(4.0%)でした。推定感染地域は日本国内が21例(84.0%)、不明が3例(12.0%)、タイが1例(4.0%)でした。

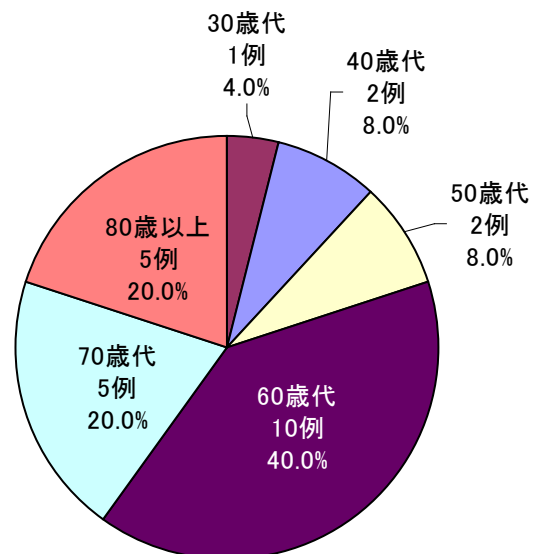
レジオネラ症報告数の年別推移



男女別報告割合(2012年)



年齢層別報告割合(2012年)



レプトスピラ症 (Leptospirosis)

3例の報告があり、いずれも男性でした。年齢層別では20歳代が2例、10歳代が1例でした。推定感染地域は、日本国内が1例、ラオスが1例、タイまたはラオスが1例でした。

5. 五類感染症(全数把握対象)

アメーバ赤痢 (Amoebiasis)

40例の報告があり、病型は腸管アメーバ症が37例(92.5%)、腸管外アメーバ症が3例(7.5%)でした。男女別では、男性が34例(85.0%)、女性が6例(15.0%)、年齢層別では10歳代が1例(2.5%)、20歳代が2例(5.0%)、30歳代が3例(7.5%)、40歳代が13例(32.5%)、50歳代が8例(20.0%)、60歳代が7例(17.5%)、70歳代が4例(10.0%)、80歳代が2例(5.0%)でした。推定感染地域は日本国内31例(77.5%)、中国・インド・グアム・インドネシア・カンボジアまたはベトナムが各1例(2.5%)、不明が4例(10.0%)でした。

ウイルス性肝炎 (Viral hepatitis)

30歳代男性の報告が1例あり、病型はB型でした。推定感染地域は日本国内でした。

急性脳炎 (Acute encephalitis)

8例の報告があり、男女別では男性6例、女性2例でした。年齢層別では、10歳未満が4例、10歳代と30歳代が各2例でした。病原体は、インフルエンザウイルスが3例、単純ヘルペスウイルスが1例、病原体不明が4例でした。インフルエンザウイルスによる3例のうち2例がB型、1例がA型でした。

クロイツフェルトヤコブ病 (Creutzfeldt-Jakob Disease: CJD)

3例の報告があり、いずれも男性でした。年齢層別では、50歳代、60歳代、70歳代が各1例でした。

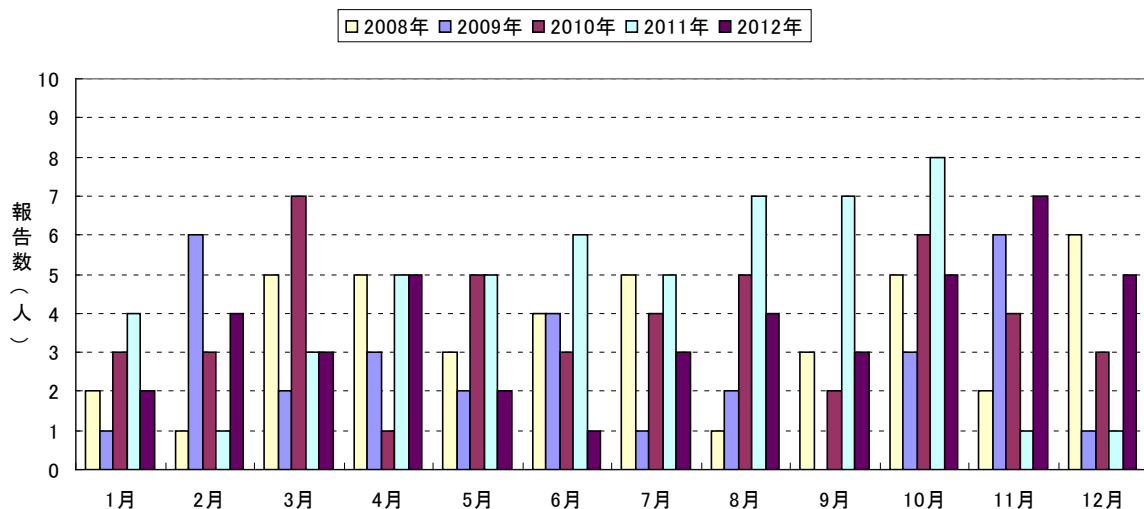
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (Sever invasive Streptococcal infection)

2例の報告があり、男女別では男性1例、女性1例でした。年齢層別では、50歳代と80歳代が各1例でした。

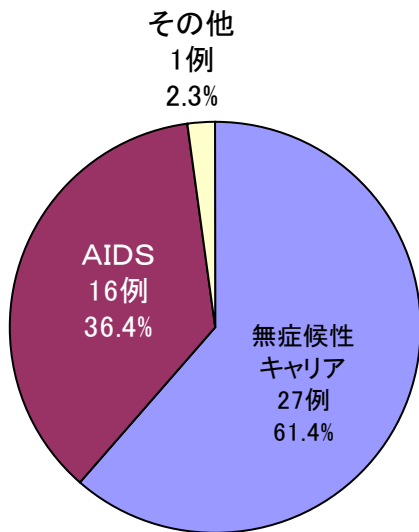
後天性免疫不全症候群 (Acquired Immunodeficiency Syndrome: AIDS)

44例の報告があり、無症候性キャリアが27例(61.4%)、AIDSが16例(36.4%)、その他が1例(2.3%)でした。男女別では男性39例(88.6%)、女性5例(11.4%)でした。国籍は、日本が39例(88.6%)で、その他が5例(11.4%)でした。年齢層別では、10歳代が1例(2.3%)、20歳代が14例(31.8%)、30歳代が17例(38.6%)、40歳代が8例(18.2%)、50歳代が4例(9.1%)でした。推定感染地域は日本国内が37例(84.1%)、アメリカ合衆国、インドネシア、ウガンダおよびペルーが各1例(2.3%)、不明が3例(6.8%)でした。

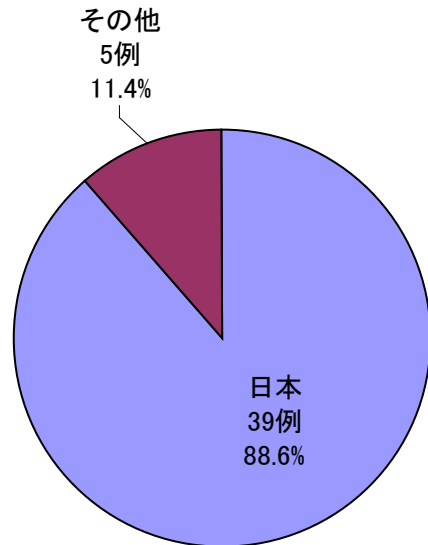
過去5年間の後天性免疫不全症候群 月別報告数



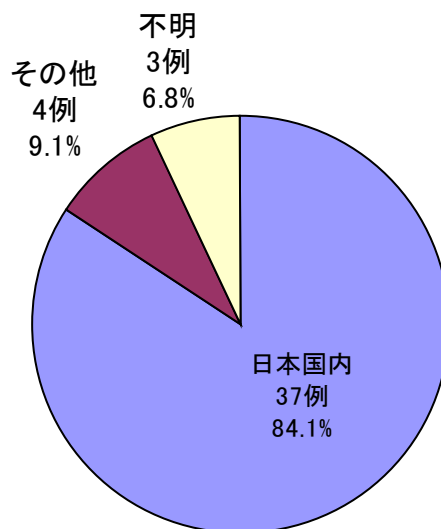
病型別報告割合(2012年)



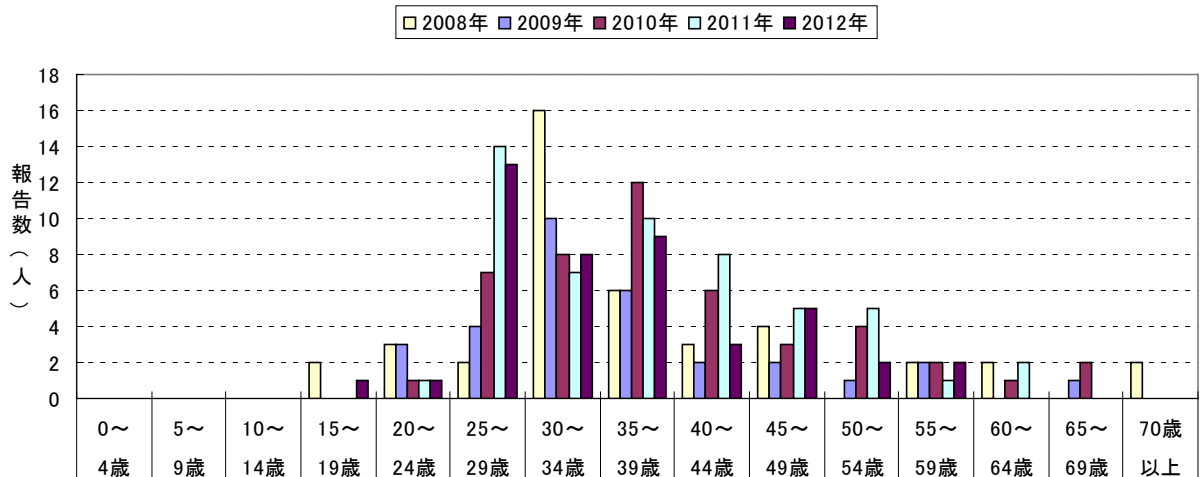
国籍別報告割合(2012年)



感染地域別報告割合(2012年)



過去5年間の後天性免疫不全症候群 年齢層別報告数



ジアルジア症 (Giardia disease)

3例の報告があり、いずれも男性でした。年齢層は40歳代が2例、60歳代が1例で、推定感染地域はインド、カザフスタン、不明が各1例でした。

髄膜炎菌性髄膜炎 (Meningococcal meningitis)

60歳代女性の報告が1例ありました。推定感染地域は日本国内でした。

梅毒 (Syphilis)

15例の報告があり、男性が11例(73.3%)、女性が4例(26.7%)でした。年齢層別では、20歳代が6例(40.0%)、30歳代が3例(20.0%)、40歳代が5例(33.3%)、60歳代が1例(6.7%)でした。推定感染地域は、日本国内が13例(86.7%)、フィリピン、不明が各1例(6.7%)でした。

破傷風 (Tetanus)

4例の報告があり、男女別では男性が3例、女性が1例でした。年齢層別では、60歳代が2例、70歳代と90歳代が各1例でした。推定感染地域はいずれも日本国内でした。

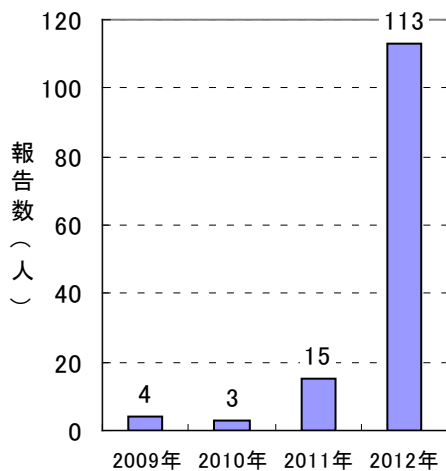
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (Vancomycin-Resistant Enterococcal infection:VRE)

4例の報告があり、男女別では、男性1例、女性3例でした。年齢層別では、80歳代が2例、70歳代と90歳代が各1例でした。推定感染地域は、日本国内と不明が各2例でした。

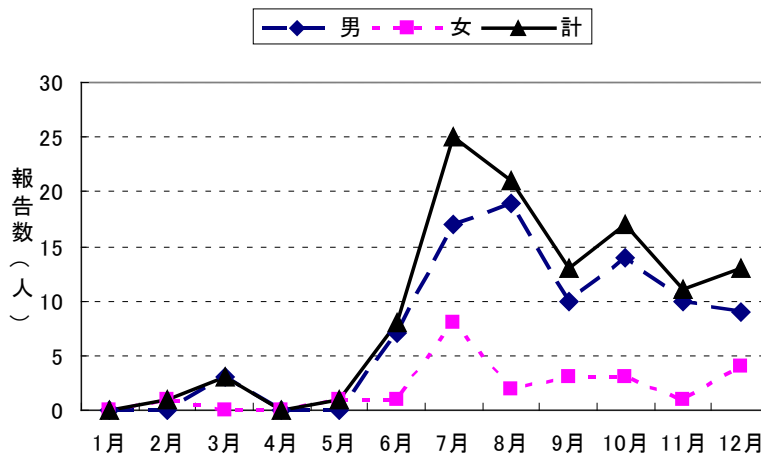
風しん (Rubella)

2012年の報告数は113例で、この数値は前年の約7.5倍に相当します。男女別では、男性89例(78.8%)、女性24例(21.2%)でした。年齢層別では、10歳未満が9例(8.0%)、10歳代が21例(18.6%)、20歳代が29例(25.7%)、30歳代が22例(19.5%)、40歳代が25例(22.1%)、50歳代が7例(6.2%)で、このうち20～40歳代男性が64例(56.6%)と半数以上を占めています。

市内風しん報告数

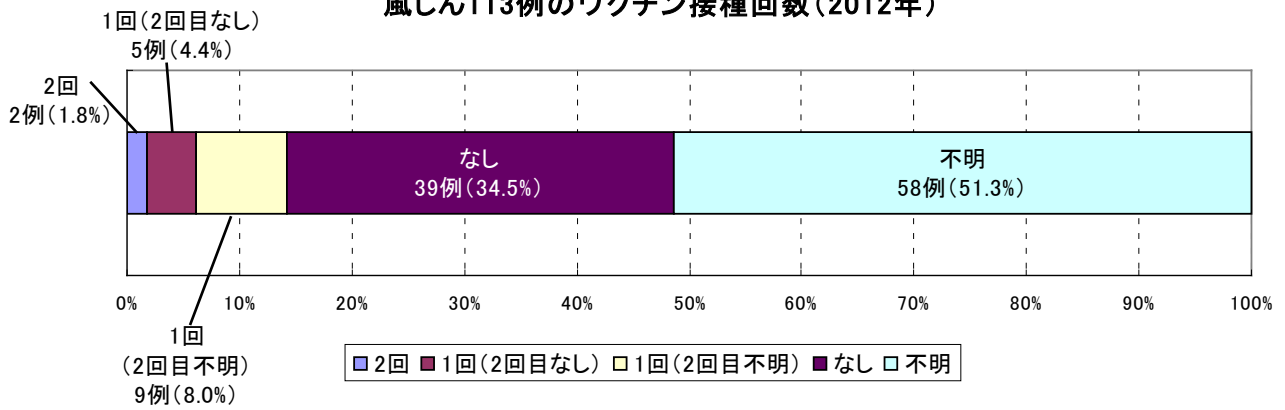


風しん報告数の月別推移(2012年)



風しん含有ワクチン接種率は、1回目接種有が16例(14.2%)、接種無が39例(34.5%)、不明が58例(51.3%)でした。1回目を接種している16例中、2回目の接種は、有2例(1.8%)、無5例(4.4%)、不明9例(8.0%)でした。

風しん113例のワクチン接種回数(2012年)

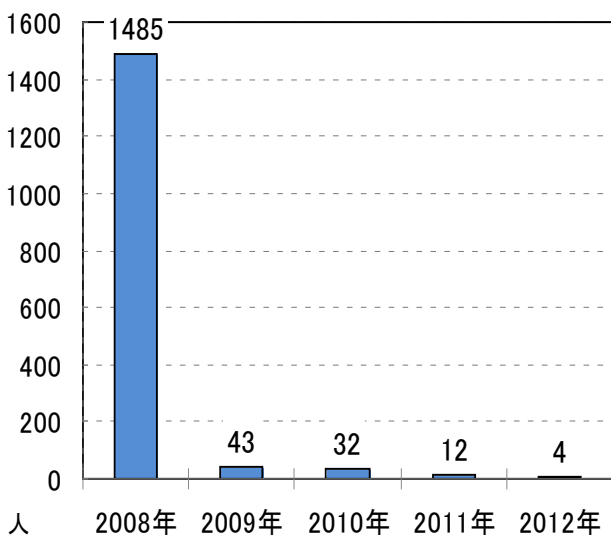


麻しん (Measles)

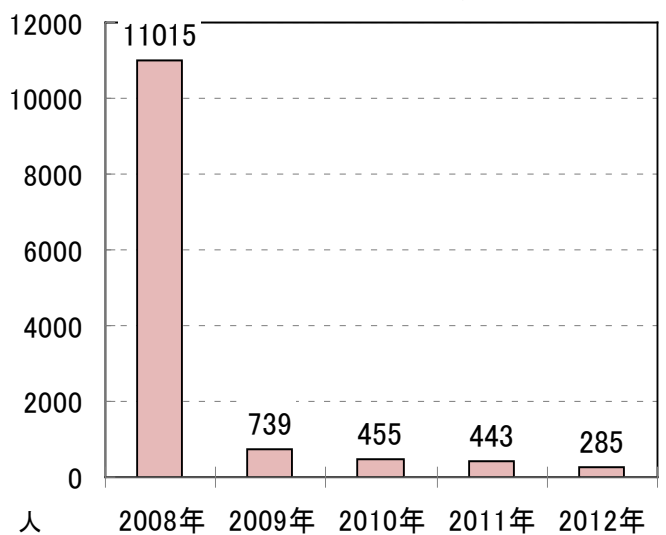
市内の麻しん報告数は、2008年に全数把握疾患に定められてからの5年間で減少し、2012年(平成24年)の報告数は4件でした。男女別では、男性3件、女性1件でした。年齢層別では、10歳代と20歳代が各1例、40歳代が2例でした。麻しん含有ワクチン接種歴は、2回接種有が1例、接種無が2例、不明が1例でした。

届出月	年齢	性別	推定感染地域	予防接種歴	ウイルス検体の有無	診断根拠
1月	10歳代	男	日本	2回あり	無	IgM 1.98
3月	20歳代	女	日本	無	無	IgM 15.86
7月	40歳代	男	感染地域不明	不明	無	IgM 1.43/1.11
	40歳代	男	感染地域不明	無	無	IgM 陽性

市内麻しん報告数



全国麻しん報告数



年別患者報告数(全数把握対象の感染症)

分類	疾病名	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
	結核	676	720	722	663	611
	ジフテリア	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)(※2)	-	-	-	-	-
三類	コレラ	1	1	-	2	2
	細菌性赤痢	14	11	9	12	6
	腸管出血性大腸菌感染症	64	87	75	61	87
	腸チフス	4	-	3	-	3
	パラチフス	4	3	2	2	1
四類	E型肝炎	-	-	-	-	1
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-
	A型肝炎	5	3	9	6	8
	エキノコックス症	-	-	-	-	-
	黄熱	-	-	-	-	-
	オウム病	-	-	-	1	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-
	チクングニア熱(※4)	-	-	-	2	1
	つつが虫病	-	1	-	2	-
	デング熱	6	4	6	3	11
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)(※3)	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	-	-
	ボツリヌス症	-	-	-	-	-
	マラリア	7	3	3	7	7
野兔病	-	-	-	-	-	
ライム病	-	1	-	-	-	
リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	
リフトバレー熱	-	-	-	-	-	

分類	疾病名	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
四 類	類鼻疽	-	-	-	-	-
	レジオネラ症	32	16	28	26	25
	レプトスピラ症	1	1	-	-	3
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-
五 類 (全 数 把 握)	アメーバ赤痢	47	35	37	53	40
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	3	5	2	3	1
	急性脳炎	3	16	8	7	8
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	6	5	3	3	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	9	3	2
	後天性免疫不全症候群	42	31	46	53	44
	ジアルジア症	5	3	6	2	3
	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	1	-	1
	先天性風しん症候群	-	-	-	-	-
	梅毒	17	22	13	9	15
	破傷風	1	3	1	1	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	4	26	9	12	4
	風しん(※1)	12	4	3	15	113
麻しん(※1)	1,485	43	32	12	4	

(- : 0件)

(※1) 2008年1月1日より追加(五類定点から変更)

(※2) 2008年6月21日より追加

(※3) 2008年6月21日より名称変更(新名称:鳥インフルエンザ(H5N1を除く) 旧名称:鳥インフルエンザ)

(※4) 2011年2月1日より追加

2012年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(男女)

2012年

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計
二類	結核	47	43	16	62	42	49	31	41	26	39	30	20	50	17	36	14	37	11	611
三類	コレラ										2									2
	細菌性赤痢							5			1									6
	腸管出血性大腸菌感染症	2	3	6	4	4	3	7	16	2	1	11	3	6	3	5		5	6	87
	腸チフス							2		1										3
	パラチフス							1												1
四類	E型肝炎	1																		1
	A型肝炎	1		1		2					1	1				1		1		8
	チクングニア熱							1												1
	デング熱							10						1						11
	マラリア	1						6												7
	レジオネラ症	1			2	3		2		1	3	1		2	3	6		1		25
	レプトスピラ症							3												3
五類	アメーバ赤痢	1	2	16	5	1	2	2	1		5	1			3	1				40
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く。)									1										1
	急性脳炎				1	3		1	2							1				8
	クロイツフェルト・ヤコブ病										2	1								3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1			1									2
	後天性免疫不全症候群	1	4		7	5		19			3		1		1	1	1	1		44
	ジアルジア症			1					1						1					3
	髄膜炎菌性髄膜炎				1															1
	梅毒		1		3	2		4	1			2			1	1				15
	破傷風							1								2	1			4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1					2								4
	風しん	10	5	14	14	3	2	18	8		3	10	5	4	4	6	2	2	3	113
	麻疹	1						1								1				4
計		67	58	54	99	65	57	115	70	31	61	59	29	64	33	61	18	47	20	1,008

2012年に報告された全数把握対象の感染症 区別内訳(男)

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計
二類	結核	25	24	9	44	29	34	17	31	16	26	22	12	28	12	21	8	22	8	388
三類	コレラ										1									1
	細菌性赤痢							3			1									4
	腸管出血性大腸菌感染症			2	3		2	3	7	1	1	6	1	3	2	3		3	1	38
	腸チフス							2												2
	パラチフス																			0
四類	E型肝炎	1																		1
	A型肝炎			1							1					1		1		4
	チクングニア熱							1												1
	デング熱							5												5
	マラリア	1						5												6
	レジオネラ症	1			2	2		2		1	3	1		1	2	5		1		21
	レプトスピラ症							3												3
五類	アメーバ赤痢	1	2	14	5		2	2	1		3	1			2	1				34
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く。)									1										1
	急性脳炎					2		1	2							1				6
	クロイツフェルト・ヤコブ病										2	1								3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1									1
	後天性免疫不全症候群	1	4		7	5		15			3		1		1		1	1		39
	ジアルジア症			1					1						1					3
	髄膜炎菌性髄膜炎																			0
	梅毒		1		3			3				2			1	1				11
	破傷風							1								2				3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症											1								1
	風しん	7	5	12	11	2	2	13	6		2	8	5	3	2	5	2	2	2	89
	麻疹	1						1						1						3
計		38	36	39	75	40	40	77	48	19	44	42	19	36	23	40	11	30	11	668

		鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	計	
二類	結核	22	19	7	18	13	15	14	10	10	13	8	8	22	5	15	6	15	3	223	
三類	コレラ										1									1	
	細菌性赤痢							2												2	
	腸管出血性大腸菌感染症	2	3	4	1	4	1	4	9	1		5	2	3	1	2		2	5	49	
	腸チフス									1										1	
	パラチフス							1												1	
四類	E型肝炎																			0	
	A型肝炎	1				2						1								4	
	チクングニア熱																			0	
	デング熱							5						1						6	
	マラリア							1												1	
	レジオネラ症					1								1	1	1				4	
	レプトスピラ症																			0	
五類	アメーバ赤痢			2		1					2				1					6	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く。)																			0	
	急性脳炎				1	1														2	
	クロイツフェルト・ヤコブ病																			0	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1												1	
	後天性免疫不全症候群							4								1				5	
	ジアルジア症																			0	
	髄膜炎菌性髄膜炎				1															1	
	梅毒					2		1	1											4	
	破傷風																	1		1	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1					1								3	
	風しん	3		2	3	1		5	2		1	2		1	2	1				1	24
	麻しん															1					1
計		29	22	15	24	25	17	38	22	12	17	17	10	28	10	21	7	17	9	340	

2012年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(男女)

2012年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	42	48	47	48	51	54	55	46	45	69	60	46	611
三類	コレラ	1				1								2
	細菌性赤痢	1							2		1	1	1	6
	腸管出血性大腸菌感染症			3	2	3	27	9	10	15	13	4	1	87
	腸チフス		1		1					1				3
	パラチフス	1												1
四類	E型肝炎				1									1
	A型肝炎			1	2	2					2	1		8
	チクングニア熱						1							1
	デング熱						2	2	3	1	3			11
	マラリア			2	2			1	2					7
	レジオネラ症	2	2			2	5	2	3	2	2	2	3	25
	レプトスピラ症								1		2			3
五類	アメーバ赤痢	3	1	1	2	3	9	3	2	2	5	3	6	40
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く。)										1			1
	急性脳炎	2	1			2			2		1			8
	クロイツフェルト・ヤコブ病					1					1		1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1						1	2
	後天性免疫不全症候群	2	4	3	5	2	1	3	4	3	5	7	5	44
	ジアルジア症			1	1						1			3
	髄膜炎菌性髄膜炎												1	1
	梅毒	2		3		1	2		3	2	2			15
	破傷風	1	2								1			4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	1					1		1			4
	風しん		1	3		1	8	25	21	13	17	11	13	113
	麻疹	1		1					2					4
計		58	61	66	64	69	110	103	99	84	127	89	78	1,008

2012年に報告された全数把握対象の感染症 月別内訳(男)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	25	31	31	32	33	32	40	32	24	41	39	28	388
三類	コレラ	1												1
	細菌性赤痢	1							2			1		4
	腸管出血性大腸菌感染症			2		2	9	4	4	7	8	1	1	38
	腸チフス		1		1									2
	パラチフス													0
四類	E型肝炎				1									1
	A型肝炎				1	2						1		4
	チクングニア熱						1							1
	デング熱						2	1	1		1			5
	マラリア			2	2			1	1					6
	レジオネラ症	1	2			2	5	1	2	2	2	2	2	21
	レプトスピラ症								1		2			3
五類	アメーバ赤痢	1		1	2	3	8	2	2	2	4	3	6	34
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く。)										1			1
	急性脳炎	2	1			2			1					6
	クロイツフェルト・ヤコブ病					1					1		1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1							1
	後天性免疫不全症候群	2	4	1	5	2	1	2	3	3	4	7	5	39
	ジアルジア症			1	1						1			3
	髄膜炎菌性髄膜炎													0
	梅毒	2		1		1	1		3	1	2			11
	破傷風	1	2											3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1										1
	風しん			3			7	17	19	10	14	10	9	89
	麻疹	1							2					3
計		37	41	43	45	48	67	70	71	49	81	64	52	668

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	17	17	16	16	18	22	15	14	21	28	21	18	223
三類	コレラ					1								1
	細菌性赤痢										1		1	2
	腸管出血性大腸菌感染症			1	2	1	18	5	6	8	5	3		49
	腸チフス									1				1
	パラチフス	1												1
四類	E型肝炎													0
	A型肝炎			1	1						2			4
	チクングニア熱													0
	デング熱							1	2	1	2			6
	マラリア								1					1
	レジオネラ症	1						1	1				1	4
	レプトスピラ症													0
五類	アメーバ赤痢	2	1				1	1			1			6
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く。)													0
	急性脳炎								1		1			2
	クロイツフェルト・ヤコブ病													0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症												1	1
	後天性免疫不全症候群			2				1	1		1			5
	ジアルジア症													0
	髄膜炎菌性髄膜炎												1	1
	梅毒			2			1			1				4
	破傷風											1		1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1					1			1		3
	風しん		1				1	1	8	2	3	3	1	4
麻しん			1											1
	計	21	20	23	19	21	43	33	28	35	46	25	26	340

		0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
二類	結核	6	0	0	6	19	29	15	32	37	34	30	31	44	44	54	66	164	611
三類	コレラ									2									2
	細菌性赤痢					2		1		1					1		1		6
	腸管出血性大腸菌感染症	10	8	6	22	4	10	3	4	2	3	3	5	1	3	2	1		87
	腸チフス			1			1	1											3
	パラチフス										1								1
四類	E型肝炎											1							1
	A型肝炎			1	1	2			2	1							1		8
	チクングニア熱									1									1
	デング熱						2		1	1	1	2	1	3					11
	マラリア						2	1	2		1			1					7
	レジオネラ症							1		1	1	1	1	3	7	1	4	5	25
	レプトスピラ症				1	1	1												3
五類	アメーバ赤痢			1			2	2	1	5	8	5	3	5	2	1	3	2	40
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く。)									1									1
	急性脳炎	2	2	1	1				2										8
	クロイツフェルト・ヤコブ病													1	1		1		3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症												1					1	2
	後天性免疫不全症候群				1	1	13	8	9	3	5	2	2						44
	ジアルジア症									1	1			1					3
	髄膜炎菌性髄膜炎														1				1
	梅毒				4	2	2	1	4	1				1					15
	破傷風													1	1	1		1	4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																1		4
	風しん	4	5	3	18	16	13	11	11	13	12	6	1						113
	麻疹				1	1					2								4
計		22	15	13	51	50	75	45	66	74	68	51	45	60	60	60	77	176	1,008

2012年に報告された全数把握対象の感染症 年齢層別内訳(男)

		0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
二類	結核	3	0	0	2	7	18	6	21	26	24	25	20	28	36	38	42	92	388
三類	コレラ									1									1
	細菌性赤痢					1		1		1							1		4
	腸管出血性大腸菌感染症	5	4	3	9	2	6	1	3		1		3				1		38
	腸チフス						1	1											2
	パラチフス																		0
四類	E型肝炎											1							1
	A型肝炎					1			1	1							1		4
	チクングニア熱									1									1
	デング熱										1	1	1	2					5
	マラリア						1	1	2		1			1					6
	レジオネラ症									1	1	1	1	3	7	1	3	3	21
	レプトスピラ症				1	1	1												3
五類	アメーバ赤痢			1			1		1	4	7	5	3	5	2	1	3	1	34
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く。)									1									1
	急性脳炎	1	1	1	1				2										6
	クロイツフェルト・ヤコブ病													1	1		1		3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症																	1	1
	後天性免疫不全症候群				1	1	11	8	8	2	5	1	2						39
	ジアルジア症									1	1			1					3
	髄膜炎菌性髄膜炎																		0
	梅毒				3			1	1	4	1			1					11
	破傷風													1	1	1			3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																	1	1
	風しん	3	2	3	11	9	10	10	11	13	11	5	1						89
	麻疹				1						2								3
計		12	7	8	26	25	49	29	51	57	53	39	32	42	47	41	52	98	668

		0～ 4歳	5～ 9歳	10 ～ 14 歳	15 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	35 ～ 39 歳	40 ～ 44 歳	45 ～ 49 歳	50 ～ 54 歳	55 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80歳 以上	計
二類	結核	3	0	0	4	12	11	9	11	11	10	5	11	16	8	16	24	72	223
三類	コレラ									1									1
	細菌性赤痢					1								1					2
	腸管出血性大腸菌感染症	5	4	3	13	2	4	2	1	2	2	3	2	1	3	2			49
	腸チフス			1															1
	パラチフス										1								1
四類	E型肝炎																		0
	A型肝炎			1	1	1			1										4
	チクングニア熱																		0
	デング熱						2		1	1		1		1					6
	マラリア						1												1
	レジオネラ症							1									1	2	4
	レプトスピラ症																		0
五類	アメーバ赤痢						1	2		1	1							1	6
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く。)																		0
	急性脳炎	1	1																2
	クロイツフェルト・ヤコブ病																		0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症											1							1
	後天性免疫不全症候群						2		1	1		1							5
	ジアルジア症																		0
	髄膜炎菌性髄膜炎														1				1
	梅毒					1	2	1											4
	破傷風																		1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																1	2	3
	風しん	1	3		7	7	3	1			1	1							24
	麻疹					1													
計		10	8	5	25	25	26	16	15	17	15	12	13	18	13	19	25	78	340